

これでいいのか?新潟市!

新潟市政、大転換期への第一歩

次世代にツケを先送りしない市政を実現! 財政の健全化を図るべき!

安心政令都市を掲げながら 財政不安を抱える現実

新潟市議会は2月定例会最終日、新年度予算(3,645億円)を可決しました。市は、国の経済対策をふまえた2月補正予算(29億円)と一体的に編成し、切れ目ない支援を実施するとしています。

新潟市は、平成19年の政令市移行から8年が経過し、ちょうどこの3月で約2,700億円の巨費を投じて行ってきた合併建設計画が終了します。このことから、今後は新たな財政確保に取り組み、持続可能な財政運営を目指すとして

て、財政の健全化を示す「プライマリーバランス」を改善し、起債(市債を発行して借金すること)の抑制を図っていましたが、市長は「合併計画が終わったからといって、いきなり建設事業費を大幅に下げると影響が大きい」などとして事実上2年間、問題を先送りし、約577億円の起債を新年度予算に盛り込んでしまいました。(表1参照)

もちろん、必要な投資や経済対策をきちんと続けながら解決しなければならない難しい問題ですが、超高齢化・少子化社会の到来による社会保障費の増加、また都市基盤整備などの財政需要の対応については、市の貯金である「基金」を活用するとして60億円を基金から取り崩すことにしています。(表2参照)

Check!

✓ 将来に責任の持てる市政を進めます。
市政を正せ! 未来を守れ。

公式サイト <http://fukaya-s.net>

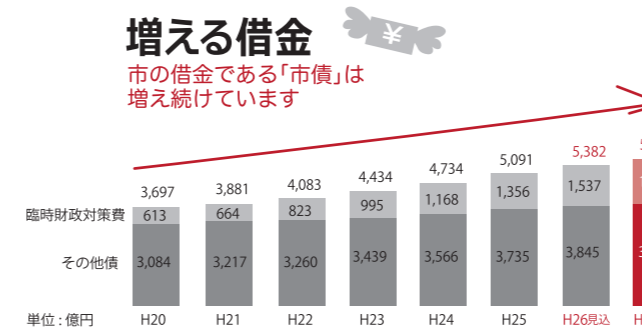


表1 市債残高(一般会計)の推移

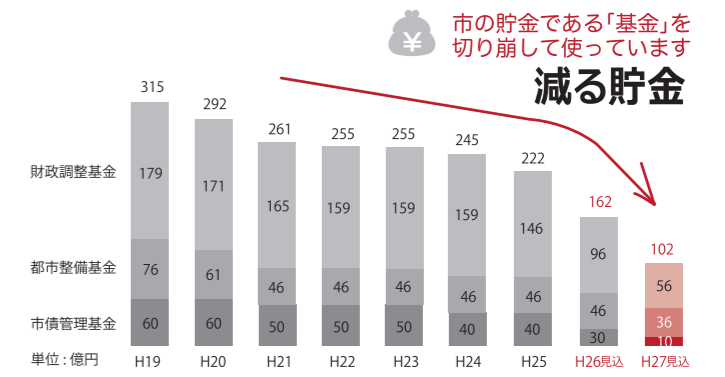


表2 基金現在高の推移

平成27年2月議会一般質問

注目を集めている

BRT問題について質問をしました。その信じられないほどいい加減な、答弁の一部を紹介します



1 連節バス導入反対の民意を否定し、賛成へと誘導する危険なアンケート調査

Q 市民の誤解を解くとして「反復型意識調査」を行っているが、結果は最初から決められている。アンケートに示された市民の意見を尊重し、計画自体の変更や中止も視野に入れなければ調査をする意味がないし、税金の無駄使いである。このような調査にいくら使っているのか。

A 現在2回までで支出は530万円、今後さらに3回目を実施予定である。

Q このアンケートの実施目的は、市民の疑問や懸念を把握するためと言いつつ、反対する意見を否定して賛成の方向へ誘導することではないのか。

A 目的は市民の疑問や懸念を把握し、説明を行うことを複数回繰り返し、意見の変化を把握するもの。その過程を示すことで市民の理解が深まるものに取り組んでいる。

2 連節バスが走行するのに必要な許可条件を答えられないほどずさんなBRT計画

Q 道路交通法には、長さ12mや、重さ20t等の一般的制限値を超える車両が公道を走る場合は、道路管理者から特殊車両の通行許可を得なければならないとあるが、本市が導入する連節バスの走行にも許可が必要なのか。また、その場合に付される条件とはどのようなものか。

A 特殊車両として申請することになる。走行の詳細については、分からないので答えられない。

3 犠牲者がでなければ気がつかないのか! 市民の命よりBRTが優先という驚きの答弁

Q 連節バスを走行させるため、榎谷小路のタクシー乗り場を無理やり移設したことによって市民の安全が脅かされている。とくに西堀通に移転

したタクシー乗り場は、新潟三越が設置したスプリンクラーなどの送水口の正面に位置している。百貨店の消防用施設を塞ぐことは、大惨事につながりかねないので改めるべきではないか。

A 道路交通法上問題はない。送水口は重要な設備だが、タクシーに移動してもらえば消防ポンプ車が支障なく接近できる。これまでタクシー乗り

場を大通りに設け、貴重な道路を駐車のために使っていたこと自体が問題だったと考えている。



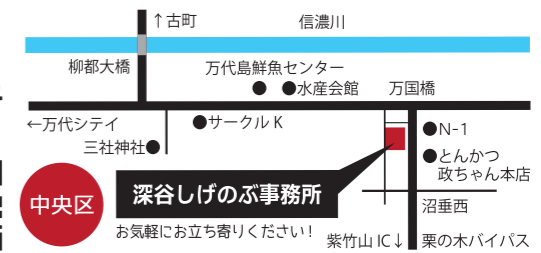
↑動画はこちら



新潟市議会議員 深谷しげのぶ 2015年春の号 政務活動報告

〒950-0076 新潟市中央区沼垂西3-3
TEL 025-282-7917 FAX 025-282-7918
Email: fukaya0412@gmail.com

※「政務活動報告」は、政務報告活動費によって発行しています <http://fukaya-s.net>



BRT計画は いったい何が 問題なのか?

連節バス導入は本末転倒な手法であること

交通政策上の手段でしかない「連節バスの導入」に固執するあまり、手段を達成することが目的になっています。

導入効果がなく、悪影響を及ぼすこと

公共交通に求められている「安い、早い、便利、安全」を犠牲にして、「高い、遅い、不便、危険」となる導入計画を進めています。

反対する市民の意見を無視していること

計画に反対する市民意見は「誤解が原因」として聞き入れず、民意を否定しています。

結論!! 以上の理由から「BRT計画は一旦中止して、大幅な見直しを行うべき」であると考えます!

市民に知ってほしい新年度予算 総額3,665億円の取り組み

平成27年2月補正予算分29億円を一体化

平成27年度予算の主な取り組みの中で、ぜひ市民の皆さんに注目してほしい項目をチェックしました。

① 消防局中央消防庁舎(東大畑通)の老朽化等に伴い、今年12月に産業振興センター西側(撞木)に移転。大規模災害にも対応する整備が行われます。新潟島中心部にある4出張所は、機能を分散させ、救急隊の配備も追加されます。市民の安全確保に支障がないように努めて参ります。

② 少子高齢化などの影響で市街地において空き家が急増、治安の悪化やまちの荒廃を防ぐ観点から問題提起(H23.12月定例会一般質問)していましたが、空き家利活用の支援が拡充されました。市民が安心して暮らすことができる市の実現をめざします。

③ 東日本大震災での経験を基に、海岸や信濃川などの河川に接している新潟市は、地震や津波の情報を市民にいち早く伝達し、命を救う取り組みを進めています。また、新潟市議会でも災害時に即時に対応するマニュアルを作るべきだと提案いたしました。災害時に国、県、政党、関係機関への要請活動、応急活動、復興計画などが行えるよう準備を進めています。

市民と地域が学び高め合う 安心協働都市
超高齢・少子社会に対応するため、地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みと、こども医療費の助成拡大など総合的な子育て支援の強化。地域の力を最大限に発揮することができる環境づくり。

- ずっと安心して暮らせるまち**
- 消防局・中央消防署移転新築 31億4,700万円
 - 消防救急無線デジタル化の整備 9億7,263万円
 - にいがた救命サポーター事業 150万円
 - 防災知識の普及啓発 331万円
 - 地域包括ケア推進モデルハウス事業 530万円
 - 在宅医療・介護連携推進事業 1,350万円
 - 地域提案型の空き家活用への支援 1,200万円
 - 空き家利用のためのリフォーム支援 5,550万円
 - 学校耐震補強事業 34億3,010万円
 - 避難・防災拠点の耐震化 12億4,040万円 補 6億9,760万円
 - 災害時情報伝達の拡充 2億269万円
 - 津波災害等避難対策の推進 960万円

- 男女共同参画の推進**
子どもを安心して産み育てられるまち
- 妊産婦およびこども医療費の助成 17億7,916万円
 - 待機児童ゼロ対策 11億5,342万円 補 1億4,061万円
 - 放課後児童クラブ地域連携モデル事業 補 1,100万円
 - 放課後児童の健全育成 14億3,101万円

- 学・社・民の融合による教育を推進するまち**
- 教育ミーティングの開催 198万円
 - アフタースクール学習支援 600万円

- 地域力・市民力が伸びるまち**
- 地域活動補助金 1億円
 - 地域コミュニティ協議会の運営体制強化 8,850万円

田園と都市が織りなす 環境健康都市
本市が誇る農業と食文化を子どもの教育や福祉、観光などに活用。健康づくりと公共交通強化、まちなか活性化などを連動させる取り組みと、誰もがいきいきと働き、活躍できる社会づくり。

- 地域資源を活かすまち**
- 新潟発わくわく教育ファームの推進 4,135万円
 - 農業を活用した障がい者雇用の促進 補 1,300万円
 - 田園資源の活用推進 500万円
 - 都市型グリーン・ツーリズムの推進 190万円
- 人と環境にやさしいにぎわうまち**
- 新たな交通システムの導入 3億953万円
 - 交通システムの強化 1億5,718万円
 - 生活交通の確保維持・強化 3億9,938万円
 - 健幸になれるまちづくりの推進 2,300万円
 - にいがた未来ポイントの発行 901万円
 - 都心軸・萬代橋周辺エリア
賑わい空間の創造 5億910万円
 - まちなかの魅力創出事業 2,120万円
- 誰もがそれぞれにふさわしい働き方ができるまち**
- ワーク・ライフ・バランスの推進 700万円
 - 女性再就職支援事業 550万円
 - 学生Uターン促進事業 補 1,200万円

④ 市民から多くの反対がありながら、一方的に事業が進められているBRT計画。関連事業を含めて巨額な予算が支出されますが、生活交通の利便性を高めることに繋がるかは不透明。(※詳細は裏面にも掲載)

日本海拠点の活力を世界とつなぐ 創造交流都市
農業の6次産業化や航空機産業をはじめ、成長産業の育成・支援や、既存産業への支援を強化、雇用の安定と創出を図る。マンガ・アニメや鉄道などを活用した魅力発信や、東アジア文化都市を活用した取り組み。

- 役割を果たし成長する拠点**
- 国家戦略特区の推進 1億6,690万円 補 240万円
 - 輸出用米生産促進の体制整備 400万円
 - がんばる農家支援事業 3億4,040万円
 - 多様な米づくりの推進 1億3,300万円 補 700万円
 - 新潟空港の利用活性化促進 4,610万円
 - 新潟港の利用活性化推進 2,198万円
 - クルーズ客船の誘致推進 200万円
 - 新潟駅周辺地区の整備 79億2,553万円
 - 道路・橋りょうの維持補修 44億594万円

- 雇用が生まれ活力があふれる拠点**
- 地域イノベーション戦略の推進 6,000万円
 - 中小企業の経営強化支援 1億3,080万円 補 820万円
 - 中小企業成長分野参入促進設備投資補助金 補 2億5,000万円
 - 地域商店魅力アップ応援事業 1億円

- 魅力を活かした交流拠点**
- 水と土の芸術祭2015 2億3,600万円
 - 2015年ミラノ国際博覧会参加関連事業 1,500万円
 - マンガ・アニメを活かしたまちづくり 1億5,534万円
 - 鉄道文化の魅力発信 1億円
 - みなと新潟「光の響演」 8,500万円
 - ラ・フォルジュルネ音楽祭 4,800万円
 - アート・ミックス・ジャパン2015 600万円

- 世界とつながる拠点**
- 東アジア文化都市の推進 2億6,010万円
 - 外国人の誘客促進 4,298万円 補 1,320万円
 - 外国人向け魅力の発信 200万円
 - ガルベストーン市・ハバロフスク市姉妹都市連携50周年記念交流 1,298万円

⑥ 「農業特区」を成功させるにはスピード感が大切です。せっかくのチャンスをお役所体質が台無しにしています。チャレンジする新たな力を責任持って支える覚悟が必要です。

⑦ 新潟市の地理的な優位性を活かし、これまで幾度となく取り組むべき最重点課題とされてきた日本海側拠点化政策ですが、実態が伴わず、成果が得られていません。情報と人脈の重要性をもっと自覚すべきです。

⑧ 市民の皆さんから、イベント行政、お祭り行政と、多くの意見が寄せられています。新年度も新規・拡充と、大きな予算が支出されることになりました。市民不在の名ばかりの文化・芸術イベントは、これまで通り中止の方向で訴えていきます。

⑨ 東アジア文化都市は、日中韓の合意で選ばれた都市が、文化交流拠点として、平和・共生・交流の実現に向け役割を果たす事業。市長は「文化交流で新潟から国の関係改善をしていく」と述べていますが、自国の立場に沿った対応が必要です。中国総領事館問題で見られた、国益を軽んじる対応が繰り返されないよう注視して参ります。



Check!

新潟市議会議員 **深谷しげのぶ** (中央区) 将来に責任の持てる市政を進めます。**BRT STOP!** **市政を正せ! 未来を守れ。**

市議会は、市の予算や重要な事柄を審議し、意思決定するとともに、執行機関を監視する役割を持っています。深谷しげのぶは、組織のしがらみに囚われることなく、市民の思いを議会に届け「将来に責任の持てる市政の実現」をめざし、行動しています。



公式サイト <http://fukaya-s.net>

